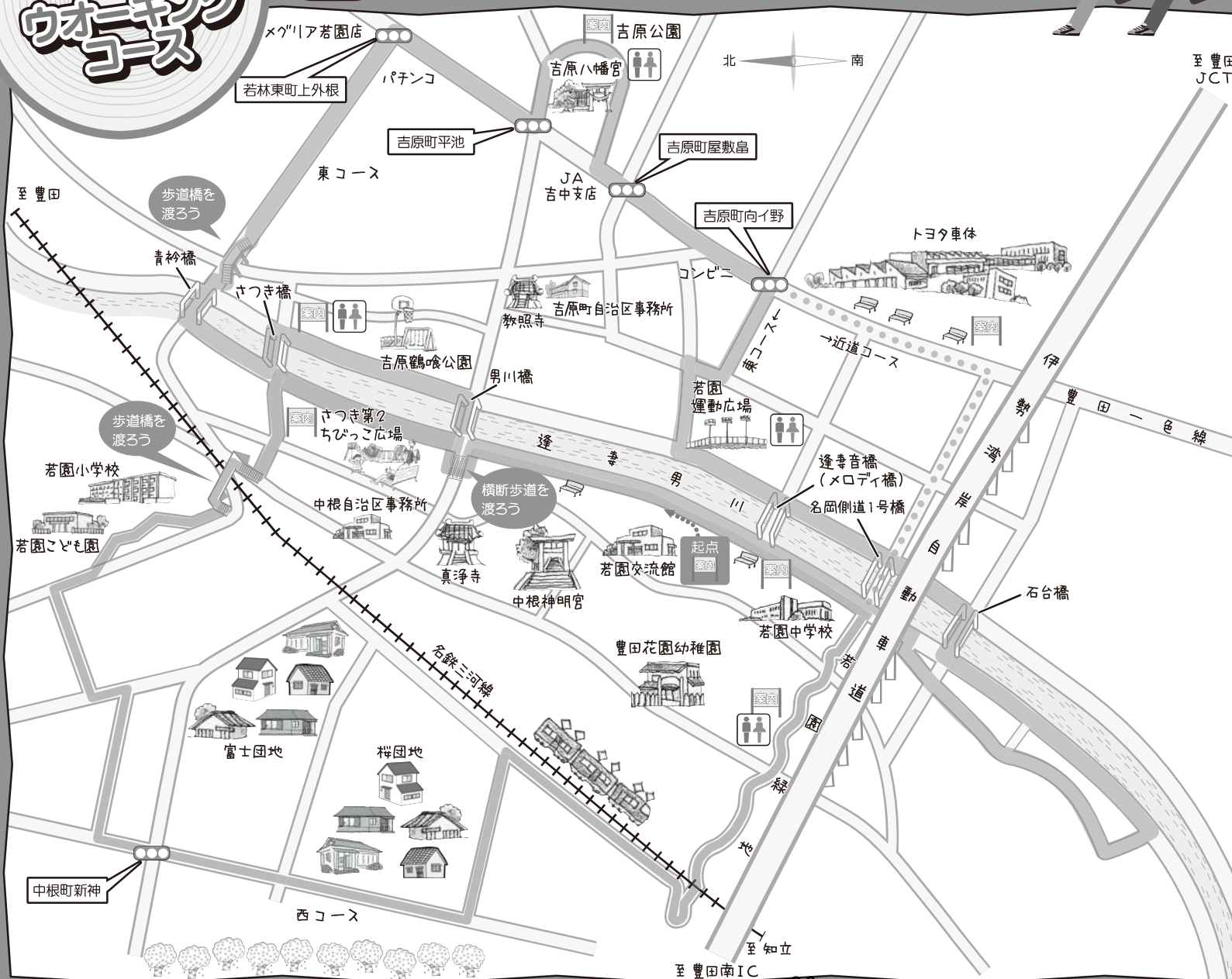


若園地区 ウォーキング コース

若園ふれあいロード



ウォーキングコース



見どころ

- **吉原八幡宮**
寛永9(1632)年、新しく領主となった松平中辰公が、この地の開墾を命じられました。翌年、16人の開墾者が集まり開墾したところ豊作に恵まれました。豊作を天のご加護と信じたのでしよう。この地に八幡宮を作り、崇めるようになったと伝えられています。
- **教照寺**
安土桃山時代から江戸時代の初めの頃、この地を開墾した人たちが道場を建てました。その後、本願寺の末寺となり、安永2(1773)年に本山より山号、寺号、本尊を賜り瑞光山「教照寺」と呼ばれるようになりました。
- **中根神明宮**
寛文11(1671)年、刈谷城主の稲垣信濃守が三代目にあたる淡路守に中根、花園、若林の3町1,500石を分け与えたとき、淡路守が神明宮を建てて祀ったと伝えられています。その後も、村の氏神として崇敬を受け、今日に至っています。
- **真浄寺**
真浄寺はその昔、花園村にあったのですが、今から約700年前、蓮如上人が巡礼されたとき、無住となっていたため、すべての道具を養寿寺に移しました。しかし元禄4(1691)年、この地方に病気が流行し多くの方が亡くなりました。そのときに、村人が領主の松平主頭をお願いして、今の場所にお寺を移したと伝えられています。